

# 研究活動一覽

(本誌掲載分省略)

## 関下 稔(朝日 稔)

### 著書

『現代世界経済をとらえる Ver.4』(共編著) 東洋経済新報社 2003年3月

### 論文

「海外子会社とはなにか(1) - ミシャレの世界経済認識と海外子会社把握の批判的検討 - 」 『立命館国際地域研究』第21号 2003年3月

### 書評

磯田宏著『アメリカのアグリフードビジネス』 『歴史と経済』第178号 政治経済学・経済史学会 2003年1月

### 講演

「グローバリズムの課題と展望」 『地域研究ジャーナル』第13号 松山大学 2003年3月

## 安齋 育郎

### 著書

『昭和の「少国民」からのメッセージ』(共著) K. I. Media 2003年4月

### 論文

「核抑止論の虚構とブッシュ政権の核兵器政策」 『立命館平和研究』第4号 2003年3月

### その他の文筆活動

「迷信の観念」 『上方芸能』 148 2003年6月

「白装束集団徘徊す」 『上方芸能』 149 2003年8月

「霊能者・宜保愛子さん逝く」 『上方芸能』 150 2003年12月

## 板木 雅彦

### 論文

「多国籍企業とM & A・国際提携 グローバリゼーションの主役」 『現代世界経済をとらえる Ver.4』東洋経済新報社 2003年3月

「多国籍企業のグローバル展開と国際過剰資本」 『グローバリゼーションと国際通貨』日本経済評論社 2003年12月

及川正博

論文

*All My Sons* as Precursor in Arthur Miller's  
Dramatic World Ritsumeikan Annual Review  
of International Studies Vol.1 2003年1月

大島堅一

著書

『アジア新世紀 構想』(共著) 岩波書店 2003年7月  
『新しい環境経済政策』(共著) 東洋経済新報社 2003年11月  
『アジア環境白書 2003/04』(共著) 東洋経済新報社 2003年11月

論文

「フィリピン・クラーク空軍基地跡地の環境汚染被害」 『立命館国際地域研究』第21号 2003年3月  
「アジア各国の軍事環境問題の現状と課題」(共著) 『環境と公害』第32巻4号 2003年4月  
岩波書店

書評

小林健一著『アメリカの電力自由化』 『アメリカ経済史研究』第2号 2003年9月

その他の文筆活動

「増え続ける温室効果ガス 削減ルールに公平さ必要」 『朝日新聞』3月12日 2003年3月  
「軍事活動と環境破壊」 『琉球新報』4月9日 2003年4月  
「現代の環境問題と環境再生の課題」 『Libella』72 2003年5月  
「論考 イラク攻撃、深刻な環境汚染も」 『京都新聞』11月19日 2003年11月

その他

『環境資料集』(共著) 労働旬報社 2003年  
「第1回「軍事活動と環境」に関する国際ワークショップ」 『環境と公害』第33巻1号 2003年7月  
『ごみの百科事典』(共著) 丸善 2003年9月  
『imidias 2004』(共著) 集英社 2003年11月

大空博

論文

「2001年夏 沖縄」 『複数の沖縄』人文書院 2003年3月

講演

マスコミ報道と平和 平和学市民講座 2003年11月

## その他の文筆活動

- 「戦争とテロリズム」, 「国連と国際機関」  
西川長夫他編『グローバル化を読み解く88のキーワード』  
平凡社 2003年4月

## 小 木 裕 文

## 論 文

- 「シンガポール華人社会の新しい変容」 『地理』8月号 古今書院 2003年8月
- 「僑郷としての福建省福清地方と人口移動について」 『問題と研究』第32巻12号  
問題と研究出版 2003年9月
- 「対新加坡中国新移民若干思考」 『新世紀学刊』第3期  
斯雅舎 2003年9月

## 奥 田 宏 司

## 論 文

- 「90年代前半期における日本の対外投資の諸特徴  
その不安定性と対米ファイナンスの後退」  
『立命館国際地域研究』  
第21号 2003年3月
- 学会発表
- 「90年代日本の対外投資の諸特徴  
80年代と対比しながら」  
国際経済学会関西支部研究会 2003年5月

## その他の文筆活動

- 「ドル体制の変化とユーロ」 『現代用語の基礎知識2004』  
自由国民社 2003年11月

## 夏 剛

## 著 書

- 『グローバル化を読み解く88のキーワード』(共編著) 平凡社 2003年4月
- 『東北アジア時代への提言  
戦争の危機から平和構築へ』(共編著) 平凡社 2003年7月

## 論 文

- 「中国, 中華民族, 中国人の国家観念・民族意識・  
“国民自覚”」  
中谷猛・川上勉・高橋秀寿編  
『ナショナル・アイデンティティ  
論の現在 現代世界を読み解く  
ために』 晃洋社 2003年3月

## 研究発表

- 「中国の覇権大国化・軍事的暴走の危険要素と  
自己制御の安全装置」  
国際ワークショップ「北東  
アジア平和・繁栄の諸条件」  
(韓国発展研究院大学院) 2003年8月

講演

- 「文化の壁を如何に越えるか」 第21回「比叡会議」 2003年12月  
(日本IBM主催, 京都)

加藤恒彦

論文

- Caryl Phillips as a Black British Writer:  
the Experience of Caribbean Immigrants  
After World War II Ritsumeikan Annual Review  
of International Studies Vol. 1 2003年1月
- Recent Diasporic Novels in the UK:  
A Japanese Perspective Ritsumeikan Annual Review  
of International Studies Vol. 2 2003年12月

河村(丸岡)律子

その他

- 知る努力と知らせる努力 兵庫県農業経営改善支援  
センターだより 第24号 2003年2月
- 「ワークショップという試み」 『嶺北地域における国土保全に  
資する地域活性化計画調査』 2003年3月

小林 誠

著書

- 「終焉のイニシアティブ 『東北アジア地域冷戦』の  
呪縛を超えて」(共著) 武者小路公秀監修, 徐勝他編 2003年7月  
『東北アジア時代への提言  
戦争の危機から平和構築へ』  
平凡社
- 「外交政策の再構築」(共著) 進藤榮一編 『公共政策への  
招待』 日本経済評論社 2003年7月

論文

- 「システム特性としてのグローバル・テロリズム  
柔らかない恐怖について」 『現代思想』 第31巻第3号 2003年3月
- その他の文筆活動
- 「グローバリゼーション」, 「国境・ボーダーレス」,  
「ネオリベラリズム 新自由主義」 西川長夫他編 『グローバル化を  
読み解く88のキーワード』 2003年4月  
平凡社
- 「新戦争考1 『グローバルな内戦』に転換  
行動基準に倫理の制約を」 『毎日新聞』 8月1日夕刊 2003年8月
- シンポジウム報告
- 「アメリカのヘゲモニーはどう捉えられているか」 中部大学国際地域研究所・  
立命館大学国際地域研究所  
第4回合同シンポジウム  
「アメリカの見られ方, 感じられ方」 2003年1月

「東北アジア地域冷戦からの離脱のために」	立命館大学国際地域研究所 特別国際シンポジウム「21世紀 北東アジア平和構築と地域協力 新たな情勢と日本の役割」	2003年2月
“A Pacific Century as an Alternative Conceptual Model: Provocative Suggestions from Japan”	The Six University Symposium of American University, the University of British Columbia, Fudan University, Korea University, Tecnológico de Monterrey, and Ritsumeikan University, “Can We Really Architect a Pacific Centurt?”	2003年11月
その他		
「緊急座談会 米英, イラク攻撃」	『京都新聞』3月21日	2003年3月
「イラク戦争 終結へ(上下)」	『京都新聞』4月17, 18日	2003年4月
<b>佐藤 誠</b>		
論文		
「NEPADをめぐるリーダーシップとパートナーシップ」	大林稔編 『アフリカの挑戦』 昭和堂	2003年3月
South African Agriculture and the East Asian Experience (共著)	Co-authored with Chizuko Sato in Chris Alden and Katsumi Hirano eds., <i>Japan and South Africa in a Globalising World: A Distant Mirror</i> Ashgate	2003年4月
その他の文筆活動		
「一つの反「文明の衝突」論」	『アフリカレポート』 36 アジア経済研究所	2003年3月
Giorgio SHANI		
著書		
「グローバリゼーションとアイデンティティ」(共著)	『統合する世界, 分離する世界 グローバリゼーションの 現代的展開』ナカニシヤ出版	2003年12月
論文		
‘A Revolt against the West’: Politicized Religion and the International Order - A Comparison of the Islamic <i>Umma</i> and the Sikh <i>Qaum</i>	Ritsumeikan Annual Review of International Studies Vol. 1	2003年1月
‘The Liberal Project’: Globalization, Modernity and Identity	Ritsumeikan Annual Review of International Studies Vol. 2	2003年12月
書評		
‘Partition and Genocide’	Contemporary South Asia Vol. 13 1 Carfax	2003年1月

'Lives in Translation: Sikh Youth as British Citizens'  
International Journal of Punjab Studies 2003年7月

研究発表

Digital Diasporas and International Relations Theory  
Millennium Conference "International Relations in the Digital Age" 2003年10月

### 高橋伸彰

著書

『優しい経済学』 筑摩書房 2003年4月

その他の文筆活動

「効率」より「やさしさ」をめざして 『世界』2003年2月号 岩波書店 2003年1月

高齢者裕福は本当か 『エコノミスト』6月3日号 毎日新聞社 2003年1月

まかり通る「強者」の論理 『世界』2003年8月号 岩波書店 2003年7月

### 高橋正義

論文

Recent Trends in Polish Foreign Trade and a Need for New Approach to Industrial Policy  
Ritsumeikan International Affairs Vol. 1 2003年3月

その他の文筆活動

New Horizon of the Institute Beyond the Past  
Ritsumeikan International Affairs Vol. 1 2003年3月

### 竹内隆夫

学会発表

「東北タイ農村の兼業化とその持続性への展望」 日本村落研究学会 2003年10月

### 龍澤邦彦

著書

『湿地保全法制論 ラムサール条約の国内実施へ向けて』(共著) 中央学院大学社会システム研究所編 丸善プラネット (文科省科研出版) 2003年7月

論文

Legal Regime of Space Debris  
The Korean Journal of Air and Space Law vol. 16 2003年1月

The Concept of International Public Services  
in International Law

Ritsumeikan Annual Review  
of International Studies Vol. 1

2003年 1月

中 川 涼 司

著 書

「東アジアの新経済秩序への動きと日本の対応」

武者小路公秀監修，徐勝他編  
『東北アジア時代への提言  
戦争の危機から平和構築へ』  
平凡社

2003年 7月

永 田 秀 樹

論 文

「スペインおよびポルトガルの憲法裁判」

栗城寿夫古稀記念  
『日独憲法学の創造力』下巻  
信山社

2003年 9月

学会発表

「司法制度と民主主義」

全国憲法研究会

2003年 10月

研究発表

「有事法制と日本国憲法」

日韓共同研究会

2003年 2月

中 村 福 治

研究発表

「文富軾の挑戦 80年代運動圏内のファシズム論争に  
関する一考察」

高麗大学アジア問題研究所

2003年 2月

中 本 真 生 子

論 文

「フランスのナショナル・アイデンティティとアルザス・  
ロレーヌ」

中谷猛他編 『ナショナル・  
アイデンティティ論の現在』  
晃洋書房

2003年 3月

翻 訳

ジャン＝クレマン・マルタン「ヴァンデ：地域と国家」

P. ノラ編 『記憶の場』第2巻  
岩波書店

2003年 1月

書 評

金石範，金時鐘『なぜ書き続けてきたか，なぜ沈黙  
してきたか』

コリアン・マイノリティ研究  
第5号

2003年

その他の文筆活動

「国民国家」，「多文化主義」

西川長夫他編『グローバル化を  
読み解く88のキーワード』  
平凡社

2003年 4月

原 毅 彦

論 文

「海南小記逍遙 反・陸地主義へ」 西成彦・原毅彦編『複数の沖縄』 2003年3月  
人文書院

その他の文筆活動

「異文化理解」 西川長夫他編『グローバル化を  
読み解く88のキーワード』 2003年4月  
平凡社

その他

「キリスト教は中南米で何をしたか」 『世界の紛争』河出書房新社 2003年1月

「『海南小記』の果て」 『Inter Communication』 46 2003年10月  
NTT出版

姫 岡 とし子

論 文

Work and Gender in the 19<sup>th</sup> and 20<sup>th</sup> Centuries  
—Japan and Germany in a Comparative Perspective Ritsumeikan Annual Review  
of International Studies Vol. 1 2003年1月

本 名 純

著 書

*Military Politics and Democratization in Indonesia* London: Routledge 2003年2月

論 文

「国軍の財政破綻とその政治インパクト 10州の  
事例から見る国軍ビジネス, 軍管区制度, 地方政治,  
社会不安の関係」 『インドネシアの構造改革と  
日本の援助政策』 2003年3月  
財務省委託調査,  
国際金融情報センター

「インドネシア 国軍の財政破綻がもたらす  
社会不安」 『世界週報』 3月18日号 2003年3月

“Current Data on the Indonesian Military Elite:  
1 February 2001 - 28 February 2003” (共同) INDONESIA 75 2003年4月

「アチェ軍事作戦は新たな時限爆弾」 『世界週報』 6月24日号 2003年6月

「インドネシア / 幹部の逮捕では終わらない  
爆弾テロ」 『世界週報』 9月16日号 2003年9月

「インドネシア / アチェ戒厳令延長の舞台裏」 『世界週報』 12月9日号 2003年12月

研究発表

Hubungan Sipil-Militer dalam Tataran  
Teoritis dan Empiris Workshop *Mencermati RUU TNI  
dalam Perspektif Hubungan  
Sipil-Militer*, Laboratorium Ilmu  
Politik FISIP UI dan Sesko TNI 2003年4月



Stagnasi Reformasi TNI: Penyebab dan  
Konsequensinya

National Seminar *Millenium  
Seminar ke-2*, sponsored by  
Center for Strategic and  
International Studies and  
Japan International Cooperation  
Agency

2003年 8 月

**松 下 冽**

論 文

「ラテンアメリカの政治文化 ポピュリズムと民衆」

歴史学研究会編  
『現代歴史学の成果と課題  
1980-2000：国家像・社会像  
の変貌』青木書店

2003年 2 月

「途上国における「公共性」問題  
民主化・民主主義との関連で」

山口定他編『新しい公共性：  
そのフロンティア』  
有斐閣

2003年 3 月

翻訳

アントニー・マッグルー編『変容する民主主義：  
グローバル化のなかで』

日本経済評論社

2003年 11 月

**南 野 泰 義**

その他の文筆活動

「なぜブッシュは戦争を強行したのか」

季刊『ひろば・京都の教育』  
第134号

2003年 5 月

その他

「立命館大学国際関係学部における  
グローバル・シミュレーション・ゲーミング」  
取り組みとその到達点」

『立命館高等教育研究』第1号

2003年 2 月

**三 宅 正 隆**

論 文

「Derivational vs. Representational:  
*Glott International* 誌上での OT 論争」

『立命館言語文化研究』  
15巻 1号

2003年 6 月

**森 岡 真 史**

論 文

「労働過程研究から企業社会批判へ  
『経済科学通信』第61-70号を読む」

『経済科学通信』100号  
基礎経済科学研究所

2003年 1 月

翻 訳

J. M. ホジソン『進化と経済学』（共訳）

東洋経済新報社

2003年 4 月

山形英郎

論文

- 「伝統的な政治的紛争理論と戦争違法化」 山手治之・香西茂編『国際社会の法構造：その歴史と現状』 東信堂 2003年3月
- 「九・一一以降の国際法の世界：単独主義（unilateralism）国際法理論の台頭」 『法の科学』第33号 2003年8月
- Self-Defence against the Terrorist Attacks on September 11, 2001 Korea Review of International Studies Vol. 5, 1 2003年9月

その他

- 「紛争処理」、「国連と安全保障」、「平和維持活動」、「地域の機関と安全保障」、「軍備縮小および軍備管理に関する国際組織」 家正治編『講義国際組織入門』 不磨書房 2003年10月
- 「簡易手続部」、「勧告的意見」、「欠席裁判」、「国際司法裁判所」、「国際司法裁判所規程」、「国際紛争平和的処理一般議定書」、「国際紛争平和的処理条約」、「コンブローミエ」、「裁判準則」、「裁判条約」、「裁判不能」、「ジュネーブ議定書」、「常設国際司法裁判所」、「常設仲裁裁判所」、「先決的抗弁」、「訴訟参加」、「仲裁裁判」、「仲裁手続に関するモデル規則」、「特別裁判部」、「任意的裁判」、「ノッテボーム・ルール」、「マリア・ルース号事件」 『コンサイス法律学用語辞典』 三省堂 2003年12月

Michel WASSERMAN

論文

- 「芦花浅水荘とポール・クロードル」 『春拳と芦花浅水荘』展図録 滋賀県立近代美術館 2003年10月
- Une oeuvre claudélienne: l'Institut Franco-Japonais du Kansai Bulletin de la Société Paul Claudel 2003年10月